

授業科目

自己表現法

担当教員名 本間 久文	対象学年	1	対象学科	情報
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
	○	○	○	○

授業の概要

自分自身を表現するには、「書く」ことと「話す」ことが必要であるが、そのためには「読む」ことも「聴く」ことも重要である。相手の気持ちを尊重しながら、相手に合わせて自己を表現するための手法について学ぶ。

授業の目的

自己を表現するために、「読む」「書く」「聴く」「話す」技術を習得し、他人とのコミュニケーションに生かす。

学習目標

- ・コミュニケーションに必要な「話す技術」と「書く技術」について理解し、応用できる。
- ・自分の考えをまとめて、相手に伝えるために、どのように文章を表現するかについて学び、実践できる。
- ・日本語特有な話し方や敬語の使い方について実践を通して学び、応用できる。
- ・文章を読む力と、相手の話を聴く力を身につける。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	自己紹介	演習	本間 久文
2	1分間スピーチ	演習	本間 久文
3	長所と短所、趣味と特技	講義・演習	本間 久文
4	声の出し方	講義	本間 久文
5	書く技術	講義・演習	本間 久文
6	レポートと論文の書き方	講義	本間 久文
7	小論文	演習	本間 久文
8	手紙とメールの書き方	講義	本間 久文
9	尊敬語と謙譲語	講義・演習	本間 久文
10	読む技術	講義・演習	本間 久文
11	話す技術	講義・演習	本間 久文
12	科白を読む	講義・演習	本間 久文
13	評論する	講義・演習	本間 久文
14	自己を見つめる	講義・演習	本間 久文
15	自己分析	演習	本間 久文

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	自己表現の技法	畑山浩昭、為田英一郎、荒木晶子 他	実教出版	2013年	2,000円+税	
参考書	大学生のための基礎力養成ブック	小棹理子、伊藤善隆、高橋可奈子 他	丸善出版	2012年	2,000円+税	
その他の資料	プリント					

評価方法

課題の提出状況・内容（70%）、発表内容（20%）、授業への参加意欲（10%）によって評価する。

履修上の留意点

演習課題に意欲的に取り組み、積極的に発表することを期待する。

オフィスアワー・連絡先

質問等があるときは、あらかじめメールで問い合わせること（honma@nuhw.ac.jp）